



日本小児歯科学会九州地方会
会長 橋本 敏昭

会長就任挨拶

本年4月1日をもちまして、藤原前会長より会務を引き継ぎ、平成18、19年度日本小児歯科学会九州地方会会長に就任いたしました、はしもと小児歯科医院院長の橋本です。開業医が九州地方会会長を務めるのは故瀬尾令士元会長に次ぎ2代目となります。これまで多くの方々が九州地方会の発展のために御努力されてきており、各位に対しまして厚く御礼申し上げます。私は昭和63年より当会の幹事に就任以来今日まで副会長、監事などを歴任し、その間、親学会の理事、医療委員会委員を長年務めてまいりました。このような経験を生かしまして九州地方会の発展及び

会員の皆様方のお役に立てればと思っております。

さて、当地方会は2006年8月29日付調査で全国(国内)学会会員数4,182名の中で6ブロックに分けられた九州地区5大学を含む530名の会員で構成され、研究会も12団体あり活発な活動がなされております。現在、全国統計で専門医指導医109名、専門医は517名(当会は指導医21名を含む101名、沖縄は0名)が認定されています。また、認定医は全国979名中当会は122名となっております。専門医や認定医の方々におきましては地域を代表とする小児歯科診療の中心的存在としての立場を担って居ると思っております。今後は一般国民への小児歯科専門医や認定医に対する認知や理解を深めてもらうための啓発活動が望まれるところであります。また平成19年2月18日(日)には郡山、鶴見に続き小倉においても専門医認定医合同セミナーが開催されることになり、現在準備が進められております。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。日本小児歯科学会の本部も有限責任中間法人となり、平成20年度より始まる専門医制度の本格実施など、すべてが同時進行の中、政府と同様大改革が行われております。当然地方会へもいろいろと影響が出てきており、そういった意味では地方会も大きな流れの中で転換期に来ているように思います。また現在九州地方会に所属する大学においては世代交代が進んでおりまして、その先生方は未来を背負われるリーダーとして現在御活躍されており、新しい連携が図られようとしています。九州地方会は大学と開業医が協力しながら発展してきている会であり、今後もこのスタンスは堅持しつつ運営を行ってまいりたいと思っております。また会員の皆様方におかれましては保健医療制度改革や少子化などの影響で四苦八苦していることと思っております。そういった流れの中で私が地方会会長として何をなすべきか、皆様方と御相談しながらより良い方向性を模索していきたいと思っております。最後になりましたが、新執行部一同精一杯努力する所存でございますので、会員の皆様方の御援助、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年11月26日(日)に開催されます鹿児島島の学会にて皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

新任教授挨拶



九州歯科大学口腔機能発達学分野
教授 牧 憲司

平成18年7月1日付けで九州歯科大学の口腔機能発達学分野(旧小児歯科学講座)教授を拜命しました。90年以上の歴史と伝統のある母校の小児歯科を担当することになり、責任の重さに身の引き締まる思いがします。分野の教育・研究・臨床の一層充実するよう努める所存でございますのでよろしくお願い致します。

九州歯科大学も法人化し、教育、臨床、研究とすべきことは変わりませんがその内容は大きく変わりました。学生教育に関しては、コアカリキュラムに沿った講義やPBL教育に加え、時代に即したテーマ(少子化、軽度発達障害児の行動変容療法など)を組み込むようにしたいと考えています。また小児にとって歯科診療の最初の出会いとなる小児歯科の重要性や、少子化時代であるからこそ親が子供の口腔内への関心を高めるため、う蝕処置だけでなく咬合誘導など

もこれからは発展し得ることについて随時話していきたいと考えています。研究面では、骨や歯などの硬組織を中心とした研究を継続・発展させるとともに、臨床へフィードバックできることを目標としています。基礎講座を含め多くの他講座と共同研究を行うことにより、より充実した研究や科学的なものの考えのできる臨床家の育成に繋がるものと思います。臨床に関しては、患児を中心とした各科との円滑な連携が可能なシステムの充実を図れるようにしたいと思います。特に新病院設立以来、麻酔科の先生方と共同で運営してきた障害者(児)歯科は、年々近郊地域に浸透し、患者数も増加しています。精神鎮静法から全身麻酔法などの薬物療法、高機能自閉症児におけるTEACCH法などの行動変容療法もとり入れ成果を上げております。咬合育成に関しては乳歯列、混合歯列における不正咬合の予防処置や複雑化の防止は、最終的な矯正処置との一連の流れの中にあり顎口腔機能矯正科と密なる連携をとることは極めて重要であります。また開業医の先生方とは、定期的な症例検討会やセミナーなどにより相互のスキルアップを図っていききたいと思います。

学生時代から今日に至るまで、多くの素晴らしい人たちとの出会いに恵まれ、貴重な経験を積ませていただいたのが、私の最大の財産であると思います。今回の教授就任に関しても多くの九州地方会の先生方からお祝いや励ましのお言葉をいただきありがとうございました。お心づかいに感謝の気持ちを忘れず、少しでもご期待に沿えるように精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

第23回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催報告

大会長 野中和明

九州・山口地区も小児歯科学会員の皆様には、過日の第23回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会(大会会長 野中和明教授、大会副会長 國武哲治、準備委員長 藤瀬多佳子)では大変にお世話になりました。第23回日本小児歯科学会九州地方会大会は、九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野が開催を担当させていただきました。運営は、福岡市小児歯科集談会と九州大学母子総合研究リサーチコアの共催として、平成17年10月16日(日)福岡市中央区の福岡県歯科医師会館で開催の運びとなりました。

大会では、学会員の皆様からの20題の一般演題（展示発表：うち3題は認定医発表）および基調講演として2つのシンポジウムを企画いたしました。日曜日にもかかわらず300名を超える参加者のご協力を得ることができました。ありがとうございました。

午前中のプログラムでは開会式と総会につづき、ホットな「軽度発達障害とは？—その理解と歯科的対応—」と題するシンポジウムを行ないました。竹下研三先生（第一福祉大学教授）、長岡恵理先生（多摩市教育委員会指導室 特別支援教育スーパーバイザー）、西崎智子先生（おがた小児歯科医院 発達保育科 言語聴覚士）のご講演を拝聴できました。軽度発達障害の定義から実際の臨床における対応やその注意点などを、それぞれの専門的観点からビデオなどを交えてお話しいただき、会員からも数多くの質問が出ました。また基調講演では、「こどもの健康と“口”」と題した原寿郎教授〔九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野（小児科）〕のお話を拝聴できました。こどもの食生活と健康、そして口腔周囲にあらわれる小児疾患、さらに最近増加している児童虐待などの最新トピックについて貴重な情報を提供していただき、感謝申し上げます。

またランチタイムには大東道治前理事長自ら、日本小児歯科学会専門医制度について説明していただきました。会員からは認定医との違いや移行手続き、その日程などについて詳細な質問も出て、相互での理解を深めるよい機会となりました。午後のプログラムでは、「こどもの病気と小児歯科」と題した市民公開講座も開催いたしました。この企画では、福重淳一郎先生（福岡市立こども病院・感染症センター院長）、西間三馨先生（国立病院機構福岡病院院長）、中川健三先生（中川歯科医院理事長）が、ご専門の循環器疾患、アレルギー、いびき（睡眠時無呼吸症候群）についてご講演されました。市民の方からも質問などいただきました。大会終了後の懇親会は、会場近くのピアホール「ピアダイニング じゃんくう」にて、短い時間ながら新人紹介を始めとして親睦を深めることができました。今大会では九州地方会としてははじめての試みとして、大会の抄録集を福岡地区の小児歯科標榜医、保育園ならびに幼稚園に送付しました。また来場された標榜医の先生が日本小児歯科学会へ入会できるコーナーも設置したところ、1名ですが会場にて実際に入会され新会員となりました。ここに基調講演、シンポジウムでご講演を頂いた諸先生、機材展示や協賛、広告を頂きました企業の皆様、活発な質疑応答をいただいた会員各位、さらに大会開催にご協力頂いた関係各位に厚くお礼申し上げます。（文責：野中和明）

平成17年度日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

平成17年10月16日(日曜日)8:50～
場所：福岡県歯科医師会館

司会進行：早崎庶務幹事

1. 開会の辞 野中副会長
2. 会長挨拶 藤原会長
3. 顧問紹介 藤原会長

吉田顧問 挨拶

4. 議長選出 会場からの推薦により矢田先生が選出された

議題

- 一. 前地方会会長、故 瀬尾令士先生への黙祷を行った。
- 二. 第22回日本小児歯科学会九州地方会決算報告および会計監査
会計報告が牧先生より、監査報告が尾崎先生より行われ、承認された。
- 三. 第25回日本小児歯科学会九州地方会開催地について
役員会より、大会長：藤原教授のもとで、長崎大学主催で開催することが提案され、承認された。
- 四. 次期会長について
役員会より、福岡の橋本敏昭先生が推薦され、承認された。

五. 役員を選出時期と承認について

現状では新会長の下の役員は、4月からの任期となるが、承認は来年の総会となるので、その点について会員の了解を求め、承認された。

六. その他（報告など）

第24回日本小児歯科学会九州地方会大会会長挨拶 山崎教授
次期会長挨拶 橋本次期会長

5. 閉会の辞 有田副会長

第24回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のご案内

大会長 山崎要一

日本小児歯科学会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて平成18年11月26日(日)に鹿児島県かごしま県民交流センターにおきまして第24回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を開催いたしますので、この場をお借りしてご案内させていただきます。

今大会はメインテーマを「小児歯科における診断と治療の新たな展開」として、4名の先生による特別講演を予定しております。山口県ご開業の大野秀夫先生には「子ども歯科へのレーザー応用」、鹿児島県ご開業の奥 猛志先生には「う蝕予防の新しい試み—ステファナリシスを用いたmotivationとリスク管理—」、東京都ご開業の柳澤宗光先生には「ムーシールドによる幼児期反対咬合の早期初期治療」、そして兵庫県ご開業の嘉ノ海龍三先生には「埋伏歯の臨床—その診断と早期治療について—」という演題でご講演をお願いしております。小児の総合咀嚼器官の育成を行うための最新の対応法について、お話しして戴けることを期待しています。

一般講演としては口頭発表3題、展示発表21題を予定しており、活発な意見交換が行われると思います。

また専門医認定委員会による専門医制度についての説明会も開催します。専門医取得をお考えの先生方はぜひご参加下さい。

なお、昼食の時間(12時～13時30分)には、学会会場に隣接します「華蓮Jr」にて懇親会を予定しています。鹿児島の美味しい食材を多く用意してもらえるように「華蓮Jr」にはお願いしております。

お忙しい年末の開催であります、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

【開催日時】平成18年11月26日(日)8:45～17:15

【会場】かごしま県民交流センター

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号

TEL:099-221-6600 FAX:099-221-6640

【会費】歯科医師 5,000円、歯科衛生士・助手 2,000円

〈連絡先〉

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻

発生発達成育学講座 口腔小児発達学分野

第24回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 事務局

TEL:099-275-6262 FAX:099-275-6268

大会長 山崎要一(鹿児島大学大学院 口腔小児発達学分野 教授)

大会長補佐 奥 猛志(日本小児歯科学会 理事)

準備委員長 吉原俊博(鹿児島大学大学院 口腔小児発達学分野 講師)

第25回日本小児歯科学会九州地方会大会並びに総会開催案内

大会長 藤原 卓
準備委員長 佐々木康成

第25回日本小児歯科学会九州地方会大会並びに総会を、長崎大学医歯薬学総合研究科小児歯科学分野の担当で下記の要領にて開催いたします。長崎では平成19年11月24日、25日に県歯科医師会の担当で障害者歯科学会大会が予定されており、今回初めての試みとして同時開催を企画しました。「小児歯科における障害の受容」という内容で北九州市立総合療育センターの武田康男先生、長崎大学医学部・歯学部附属病院小児科の近藤達郎先生の講演を予定しております。多数の会員の皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

大会期日：平成19年11月25日(日)

会場：長崎県歯科医師会館

〒852-8104 長崎市茂里町3番19号

(アクセス：JR九州 浦上駅すぐ)

平成18年度日本小児歯科学会専門医・認定医合同セミナーの開催について

セミナー実行委員長 藤原 卓

日本小児歯科学会中四国地方会、九州地方会では、合同で平成18年度専門医・認定医合同セミナーを下記の通り開催します。

日時：平成19年2月18日(日)

場所：北九州芸術劇場 中劇場(700人収容可能)

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク7F

電話 093-562-8436

<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/main.asp>

時間：12:00～12:55 受付

13:00～13:05 開会の辞

13:05～14:20

講演 (1) 「医療過失に関する歯科医の社会責任 ―これまでとこれから―」

佐藤 慶太(鶴見大学歯学部法医歯学教室・専任講師)

14:20～14:25 休憩

14:25～15:40

講演 (2) 「小児歯科における歯科用エックス線CTの応用」

新井 嘉則(松本歯科大学大学院・教授)

15:40～16:00 専門医ならびに認定医制度に関する説明

16:00 閉会の辞

なお通常、セミナーと同時に行われている救急蘇生の実習は予定されておられません。お間違いのないようご注意ください。

小児歯科学会Webサイト (http://www.jspd.or.jp/info/06_0825.htm) をご参照下さい。

「開業医の立場から専門医制度最新情報」



専門医認定委員会
委員 品川光春

この度、今期2年間、長崎大学の藤原教授とともに、九州地区の専門医認定委員をすることになりましたので、よろしくお願ひいたします。標題にもありますように、開業医の立場から専門医制度のあり方を含めて、委員会活動をしていきたいと考えていますので、会員の皆様のご協力もよろしくお願ひいたします。

まず、専門医制度のポイントをまとめてみます。

1. 現行の認定医の申請は、平成19年8月まで認められ、認定医試験は12月に予定されています。つまり、認定医になるのはこれが最後になります。現在は認定医から、専門医への移行期間のため、平成20年3月までに認定医になられた先生は、22年3月までに150単位（認定医取得時までの教育研修単位を含む）を取得すれば、書類審査による資格審査で専門医になることができます。150単位に達しなかった場合には、22年4月以降、150単位に達した時点で、本格実施における専門医制度の資格試験を受験し、専門医取得を目指すことになります。この150単位は

- (1) 平成18年3月末日までは、認定医制度における研修単位を用い、
 - (2) 平成18年4月1日以降は、認定医から専門医への移行を目指す場合は「移行期間に於ける日本小児歯科学会専門医制度施行細則」の「附表2 生涯研修単位」を、また本格実施後の専門医を直接取得する場合は「同施行細則」の「附表1の教育研修単位」をもとに計算することになります。上記附表は、学会Web(http://www.jspd.or.jp/member/special_doc_05.htm)に掲載されています。
2. 平成20年4月からは、完全に専門医制度(更新には5年間で100単位)に移行します。そのため、認定医にはなれなくなります。しかしながら、現在認定医の先生で、専門医にはならず、そのまま認定医でいることは可能です。つまり、認定医の更新制度は現状のまま(更新には5年間で50単位)残ります。
 3. 認定医から専門医に移行した場合、5年間で50単位以上はあっても、100単位はとれなかった場合には、専門医の資格更新ができませんが、50単位で更新可能な元の認定医に戻ることはできません。その際は認定医も専門医の資格も失うことになります。
 4. 移行期間における詳細な規則については、9月号の学会誌にも掲載され、またホームページでも掲載されていますので、ご確認お願ひいたします。

さて、専門医制度の最新情報として、8月24日に第1回目の委員会が東京国際フォーラムで開催されましたので、その中で重要な件についてご報告いたします。

本年度の専門医セミナーは、郡山、鶴見、小倉(来年2月18日)の3か所で同じ内容で開催されます。まだ小倉の分の案内が来ていませんが、すでに郡山または鶴見に出席予約していても小倉への変更が可能ですので、学会事務局である口腔保健協会(TEL03-3947-8891)までご連絡されて下さい。

以上、簡単ではございますが、ご報告いたします。最新情報はホームページ(<http://www.jspd.or.jp>)へ順次掲載いたしますので、是非アクセスして頂きたいと思ひます。

平成18年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日時：平成18年7月9日(日)12:00より

場所：九州歯科大学附属病院2階 第3、第4会議室

出席者：橋本敏昭、野中和明、久芳陽一、藤原卓本川渉、山崎要一、牧憲司、西田郁子、西岡孝浩馬場篤子、福本敏、細矢由美子、吉原俊博、空田安博、松田容士子、梅津哲夫、田口知義、木船敏郎井上浩一郎、豊島正三郎、竹島勇、有田信一、尾崎正雄、品川光春、奥猛志、早崎治明（第23回大会会計報告のため出席）

欠席者：逢坂恒彦（敬称略）

報告事項

- 1) 平成18年度～19年度の役員紹介を橋本会長が行った。
- 2) 第24回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について鹿児島大学吉原準備委員長による説明と山崎教授より補足説明が行われた。
- 3) 第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について長崎大学藤原大会長より報告があった。

審議事項

- 1) 第23回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計報告早崎先生より報告がなされた。
- 2) 平成16～17年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告藤原常任幹事により報告が行われた。
- 3) 1) 及び2) に対する会計監査報告
尾崎監事により会計監査の報告がなされ、承認された。
- 4) 平成18年度九州地方会事業計画案について橋本会長から事業計画案の説明が行われ、承認された。
- 5) 九州地方会会計処理について監査の方法や予算の執行、会計処理の変更(口座の変更)などが承認された。
- 6) 平成18年度九州地方会予算案について西田会計担当幹事から説明があり、承認された。
- 7) 九州地方会会則の変更について会則を一部変更し承認されたが、会計事務処理に伴う部分は一部継続審議となった。
- 8) 第24回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について橋本会長から総会式次第の説明が行われ、日程の許せる範囲で専門医制度に関する説明の時間を特別に作ることで承認された。また

当日の総会は13:30頃開催されるということで承認された。

- 9) 第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について藤原常任幹事から説明が行われ、平成19年11月25日(日)長崎にて開催予定で日本障害者歯科学会とのジョイントで行われることが承認された。
- 10) 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催について福岡歯科大学の本川教授のもとで行われることが承認された。
- 11) 専門医セミナーの開催について橋本会長より今までの経緯の説明があり、平成19年2月18日(日)に福岡で中四国地方会と合同で開催されることが提案され、承認された。また、藤原常任幹事より詳しい追加説明があり、専門医認定委員会及び作業部会の委員を中心として今後準備に取り掛かることとなった。
- 12) ニュースレター発刊について前広報担当幹事の牧幹事から提案され、承認された。今後は空田幹事が担当を引き継ぐことになった。
- 13) その他
保険制度に関する意見交換を行った。

平成16-17年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告

1) 平成17年度

有限責任中間法人 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

収入	単位:円
繰越金	0
小児歯科学会より入金 平成17年度分	789,000
預金利息	0
合計	789,000

支出	単位:円
ニュースレター関連費	35,080
福岡西方沖地震被害調査費	66,688
アンケート通信費	46,236
第23回 九州地方会大会援助金	500,000
役員通信連絡費(切手・はがき・郵送代)	7,750
通信連絡費(切手・はがき代)	5,400
文具代	124,381
振込手数料	3,465
合計	789,000

次年度繰越金 0

2) 平成16・17年度 九州地方会 会計報告

収入	単位:円
繰越金	1,302,339
小児歯科学会より入金 平成16年度分	669,600
第21回 日本小児歯科学会九州地方会余剰金	113,872
第22回 日本小児歯科学会九州地方会余剰金	121,143
第23回 日本小児歯科学会九州地方会余剰金	178,464
預金利息	21
合計	2,385,439

支出	単位:円
ニュースレター代	114,292
会員アンケート代	17,000
第22回 九州地方会大会援助金	400,000
役員通信連絡費(切手・はがき・郵送代)	8,140
文具代	21,958
慶弔費	34,377
定期預金へ預入	1,207,186
振込手数料	1,627
合計	1,804,580

①普通預金繰越(収入-支出)	580,859
②定期預金繰越	
定期預金解約分	
平成14・15年度繰越分定期預金 (平成15年度九州地方会積立金)	1,107,186
(第20回日本小児歯科学会九州地方会余剰金)	
(20周年記念事業余剰金)	
預金利息	275
平成16年度九州地方会積立預金	100,000
預金利息	25
合計	1,207,486
③繰越金合計(①+②)	1,788,345

補足:平成17年の本学会の法人化に伴い、会計処理が、
1) 法人本部からの助成金の決算(平成17年度のみ単年度会計)と、
2) これまでの地方会の決算(平成16-17年度の2年間の会計)の2つに分離されました。

第23回日本小児歯科学会九州地方会大会 会計報告

A) 収入	単位:円
1) 当日会費 歯科医師 5,000円×271名	1,355,000
歯科衛生士他 2,000円×73名	146,000
2) 御祝儀(福岡県歯科医師会)	20,000
3) 学会本部補助金(日本小児歯科学会)	500,000
4) 広告金(展示、協賛を含む)	1,070,000
5) 雑費(利息・抄録代)	15,012
6) 懇親会会費	332,000
小計	3,438,012

B) 支出(役員会費用を含む)	単位:円
1) プログラム・抄録集等印刷代	364,350
2) 通信費	229,518
3) 学会会場使用料	151,472
4) 学会会場設営費	336,000
5) 運営費(文具代含む)	560,309
6) 会議費	572,000
7) 講師謝礼・旅費等	507,200
8) 懇親会諸費	275,100
9) 雑費	8,555
10) 人件費(アルバイト代、支援者弁当代を含む)	255,044
11) 余剰金(地方会へ返金)	178,464
小計	3,438,012
A) 収入-B) 支出	0

※以上の会計報告は役員会に提出承認されたものです。

平成18年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画案

1. 会員関係
 - (1) 会員の入退会
会員の入会、退会につき親学会と連携、協力を行う。
2. 機構整備
 - (1) 機構整備に関する検討
 - ①会の機構、組織及び運営に関する検討
本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う。
 - ②諸規則の検討
諸規則、諸規定の検討、策定を行い整備を図る。
3. 学術関係
 - (1) 日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会の開催。九州地区会員及びスタッフを対象として小児歯科学の研鑽と啓発のための学会を開催する。
4. 専門医・認定医制度関係
 - (1) 親学会と連携しセミナーの開催等健全なる運営、管理ができるよう協力する。
5. 広報関係
 - (1) ニュースレターの発行
本会会務運営の会員への伝達、周知に努める。
 - (2) ホームページの更新
親学会が運営するホームページの更新に協力する。
6. 各地方会との協議及び連携
 - (1) 地方会連絡協議会への出席
各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る。
7. その他

日本小児歯科学会九州地方会会則(改定案) [平成18年11月26日一部改正]

- 第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。
- 第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。
- 第3条 本会の事務局は別に定める所におく。
- 第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。
- 第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。
会 長 1名
副 会 長 2名
常 任 幹 事 5名
幹 事 若干名
・ 庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。
・ 次期大会長、地方会推薦理事、本会学会長推薦理事は特別幹事とする。
・ 大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。
監事 2名(議決権は有さないものとする。)
2. 役員は、2ヵ年とする。ただし再任は妨げない。なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。
- 第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。
3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。
4. 監事は会計および会務を監査する。
- 第7条 1. 次期会長は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。
2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。
3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。
4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。
5. 監事は会長が委嘱する。
6. 次期役員は総会で決定する。
- 第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員を選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。
- 第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。
- 第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。
- 第11条 本会には顧問をおくことができる。
- 第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 第8条の規定にかかわらず付則2の変更に限り、役員会において行うことができる。
- 〈付則〉
1. 本会則は昭和58年4月から施行する。
本会則は平成18年11月26日から改正施行する。
 2. 本会の事務局は、平成18年度4月1日より下記に置く。
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1
九州歯科大学 健康促進科学
機能育成制御学講座 口腔機能発達学分野内
日本小児歯科学会九州地方会
TEL: 093-581-1131 FAX: 093-583-5383

講座紹介

鹿児島大学医歯学総合研究科 口腔小児発達学分野
(旧 鹿児島大学歯学部 小児歯科学講座)
教授 山崎 要一

九州地方会の皆様、鹿児島大学の山崎です。平成15年に当地へ赴任して3年が過ぎました。まだまだ基盤整備中の教室ですが、我々の活動についてご紹介します。

写真は、先日6年生が卒業アルバム制作のために撮影したものです。医局員は多くはありませんが、このメンバーで昨年8月の第10回成育歯科医療研究会大会、今年4月の第36回日本顎口腔機能学会学術大会の2つの全国学会を開催し、さらに11月の第24回小児歯科学会九州地方会と、12月の平成18年度小児歯科学会公開講座(名古屋市)の開催準備を進めております。

鹿児島県は南北に600kmあり、多くの離島を抱えています。鹿児島大学の地域活動の一つに、過去30年にも亘る離島診療があり、小児歯科は歯系診療科の中で最も多く貢献しています。対象となる東シナ海の11島を春秋の2回、診療車で訪問して住民の口腔健康を増進することを目的としています。ちなみに小生はこれまで3島で診療し、いつかは全島での診療を達成したいと思っています。

鹿児島県の不名誉な特徴として小児期の齲蝕多発があります。乳幼児齲蝕の低減は県を挙げての課題となっていますが、鹿児島の砂糖文化の壁は厚く、なかなか結果に反映されません。我々も特に齲蝕状況の良くない地域で、予防・啓蒙活動を展開していますが、今後は行政と県歯科医師会、鹿児島大学の共同事業による効果的な乳幼児齲蝕予防の枠組み作りを進めたいと考えています。

鹿児島大学病院小児歯科の理念は、「口腔の健康を通して、子ども達の心と体の健やかな成長を支援する」ことであり、そのためには定期健診の中で様々な歯科医療技術を適切な時期に段階的に積み上げることが重要です。この診療理念を地元の医療機関へお伝えするために、「小児歯科 診療案内パンフレット」を作製しました。当初は限られた先生方へのお知らせにとどめる予定でしたが、教室OBや県歯科医師会幹部の方々のお力添えと大学病院のご協力により、県内の広範囲の歯科医療機関へ配布させて頂くことになりました。手探りで進めてきたプロジェクトでしたが、多くの方々のご支援により、思い描いていたよりずっと大きな成果が期待できそうです。関係されました皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

今年の九州地方会の会場である「かごしま県民交流センター」は、桜島を望むドルフィンポートや城山にも近く、学会のついでに周辺を散策されますと明治維新前後の鹿児島の歴史に触れることができます。また、黒豚、焼酎など鹿児島名物を堪能されるのも良いでしょう。皆様、この秋はどうぞ鹿児島へお越し下さい。



九州地区5大学講座一覧

大学講座名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
福岡歯科大学成長発達歯学講座 成育小児歯学分野	本川 渉	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 展開医療科学講座 小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本1-7-1	095-849-7672	095-849-7672
九州大学大学院歯学研究院口腔保健 推進学講座小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻 発生発達成育学講座 口腔小児発達学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-6262	099-275-6268
九州歯科大学健康促進科学 機能育成制御学講座 口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2-6-1	093-582-1131	093-583-5383

九州地区スタディグループ一覧

スタディグループ名称	会長名	郵便番号	連絡先住所	電話番号	FAX
長崎小児歯科臨床医会	有田 信一	852-8016	長崎市宝栄町14-8	095-862-8131	095-862-3725
熊本小児歯科懇話会	逢坂 亘彦	862-0950	熊本市水前寺1-17-32 石本ビル2F たんぼ小児歯科内	096-384-0020	096-384-0020
佐賀小児歯科研究会	森永 太	849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝3-8-2 うめず歯科・小児歯科医院 梅津哲夫	0959-30-2555	0959-30-5566
鹿児島小児歯科臨床研究会	濱崎 栄七	892-0828	鹿児島市金生町1-10	099-222-6834	099-222-6834
鹿児島ビド・グループ	坪水 良平	892-0014	鹿児島市草牟田1-15-24	099-224-6773	099-224-6773
北九州市小児口腔保健学会	木村 光孝	803-0835	北九州市小倉北区井堀1-23-28	093-581-0198	093-581-0198
北九州市小児歯科集談会	橋本 敏昭	802-0056	北九州市小倉北区黒住町24-41	093-951-3100	093-921-4026
福岡小児歯科集談会	國武 哲治	814-0161	福岡市早良区飯倉3-36-3 くにたけ小児歯科	092-845-4887	092-845-4887
NPO法人「ウェルビーイング」	西本美恵子	810-0041	福岡市中央区大名1-15-24 Well-Being BLDG 2F	092-771-5712	092-741-8037
月曜会	砥上 照美	811-1356	福岡市南区花畑3丁目17-12	092-565-1216	092-565-1216
宮崎小児歯科臨床懇話会	旭爪 伸二	880-0872	宮崎市永楽町207-1 わかば歯科医院内	0985-27-2003	0985-25-1047
宮崎障害者歯科懇談会	安部 喜郎	887-0012	宮崎県日南市園田1丁目1-16 安部歯科医院	0987-23-6878	0987-23-8950

平成18～19年度日本小児歯科学会九州地方会役員

会 長	橋本 敏昭(福岡県・地方会推薦理事)		
副 会 長	野中 和明(九州大学)		井上浩一郎(宮崎県)
	久芳 陽一(福岡県)		豊島正三郎(鹿児島県)
常任幹事	本川 渉(福岡歯科大学)		竹島 勇(沖縄県)
	藤原 卓(長崎大学)		西田 郁子(九州歯科大学・会計担当)
	山崎 要一(鹿児島大学)		西岡 孝浩(九州歯科大学・庶務担当)
	野中 和明(九州大学)		馬場 篤子(福岡歯科大学)
	牧 憲司(九州歯科大学)		福本 敏(九州大学)
幹 事	空田 安博(福岡県・広報担当)		細矢由美子(長崎大学)
	松田容士子(福岡県)		吉原 俊博(鹿児島大学)
	梅津 哲夫(佐賀県)	特別幹事	品川 光春(長崎・会長推薦理事)
	田口 知義(長崎県)		奥 猛志(鹿児島・地方会推薦理事)
	逢坂 亘彦(熊本県)	監 事	有田 信一(長崎県)
	木船 敏郎(大分県)		尾崎 正雄(福岡歯科大学)

物 故 会 員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

矢田育男先生
木山恭一先生
後野恭子先生

■編集後記

多くの被害をもたらした台風13号が過ぎ、めっきり秋を感じるようになりました。医療制度改革で揺れた小泉政権が終わり、安倍新政権が発足いたしました。今一度、小児歯科医療のあり方を考え直す必要があるのではないのでしょうか？ 会員皆様の意見を九州地方会事務局にお寄せください。尚、日本小児歯科学会のホームページに地方会のページ (URL:<http://www.jspd-6.com/>) が出来ました。各地方会の情報を入手し易くなりましたのでご利用ください。

(広報担当幹事 空田安博 記)

平成18年度日本小児歯科学会九州地方会事務局
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1
九州歯科大学 健康促進科学
機能育成制御学講座 口腔機能発達学分野内
TEL：093-581-1131 FAX：093-583-5383